

秩父今宮神社

奉賛会だより

(平成二十八年正月号)



年頭のご挨拶



今宮神社 宮司 塩谷 崇之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は当神社に格別の御尊神と御篤志を賜りま

まして誠にありがとうございます。申歳の年頭にあたり、中町奉賛会の皆様をはじめ、秩父地域のますますの隆昌と安寧を心よりお祈り申し上げます。

十二支では「申」は「猿」を表すとされます

が、元来「申」の文字は、稻妻の形の象形文字から成立したとされます。人智を超えた自然現象としての雷鳴や電光を古代の人々が恐れ崇めたのでしょ。この「申」の字に、お供物を載せる台の形状である「示」を偏としてつけると「神」の字になり、神に祈りを捧げる「申す」

という言葉につながります、雨冠を乗せれば「電」、人偏を添えれば「伸」など、力強く前向

今宮神社御社殿 (昭和初期の絵葉書より)



今宮神社
の聖神社に移築された
（右）昭和三十八年に黒谷

きな字句を形成します。

この「申」の字意に力強く導かれながら、今年平成二十八年度は、いよいよ新たな社殿の御造営に向けた具体的な歩みを始めます。現在の仮本殿と朱塗りの鳥居の間の神域に、かつて境内に威風堂々と聳えていた御社殿（現在の聖神社社殿）と同規模の拝殿を建設し、御参拝のみが拝礼できるようにしたいと考えております。ぜひ皆さまのご支援ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

今年もまた、元日の「歳旦祭」につづき、新しき春の到来を喜ぶ「立春祭」、明治十一年「秩父大火」の思い起こし防災の決意とともに火伏の神々に祈りを捧げる「三社祭」、武甲山の龍神さまを里にお迎えして感謝を捧げる「龍神祭」、秩父神社の御田植祭にその龍神さまの御恵をお分けする「水分祭」など春のお祭りが続きます。六月には、高祖役小角（役行者）をお祀りする「役尊神祭」（行者祭）、そして水無月晦の「夏越大祓」。秋には、そして当社の主祭神であるイザナギ、イザナミ、スサノヲの三柱の神々に感謝の誠を捧げる「例大祭」へと繋がります。皆様方にもぜひお運びいただき、祈りを共有させていただければ誠に幸甚に存じます。

平成二十八年 元旦

【今年度の行事予定】

◎平成二十七年四月四日(月)

龍神祭・水分祭を斎行

平成二十八年一月一日

歳旦祭

平成二十八年一月十日

立春祭

平成二十八年四月四日

神道護摩供始祭

平成二十八年六月五日

役尊神祭

平成二十八年六月三十日

夏越大祓

平成二十八年九月二十八日

例大祭

平成二十八年十二月三十一日

年越祓

◎平成二十七年三月二十一日(祝) 三社祭斎行

立春祭斎行

◎平成二十七年一月一日(祝) 歳旦祭斎行

立春祭斎行

◎平成二十七年二月四日(水) 立春祭斎行

立春祭斎行

◎平成二十七年六月八日(日)

役尊神祭(行者祭)を斎行

◎六月三十日(火) 夏越大祓を斎行

役尊神祭(行者祭)を斎行



午前中、龍神木前斎場で「龍神祭」が盛大に斎行されました。神社より御参られ、職人、伶人、作家老、作家が今宮神社に水乞いに行かれ、当社斎場にて執り行われました。秩父神社より「水分祭」が執り行われました。水幣授与の儀から授与された水幣を奉る作業者と神部ら。



「大祓」は、私たちが日常生活において知らず知らずのうちに身に纏った罪穢を祓い清める神事です。

今年もまた、奉賛会の皆様方にお手伝いいただき、無病息災をもたらすとされる立派な「茅の輪」を設置して「茅の輪くぐり」の神事を執り行いました。



午前中、龍神木前斎場で「龍神祭」が盛大に斎行されました。神社より御参られ、職人、伶人、作家老、作家が今宮神社に水乞いに行かれ、当社斎場にて執り行われました。秩父神社より「水分祭」が執り行われました。水幣授与の儀から授与された水幣を奉る作業者と神部ら。

